

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	西木観光協会補助金					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係		作成者	戸澤浩
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	観光客受入態勢の整備				29
予 算 費 目	一 般 会 計		7 款 商 工 費	1 項 商 工 費	3 目	観 光 費
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度			新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	西木地区市民のため、観光の振興を図る。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	観光誘客により観光客を増加させ、観光産業と地域の発展を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	観光キャラバン、パンフレット作成等。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	会員数	人	43	41
	成果指標	観光協会独自事業回数	回	2	3
投下コスト	項目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		440	450	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	440	450	
	人件費 (B)	—	785	807	
		職員数	—	0.1	0.1
		職員平均人件費	—	7,853	8,071
単位コスト	(A) + (B) 投下コスト	—	1,225	1,257	
	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	28,488	30,659	
		—			
単位コスト	市民1人当たりのコスト(円)	—	38	40	

【事務事業の今までの成果】

観光宣伝効果により、西木地区がグリーンツーリズムの先進地であることや農村風景が素晴らしいことが認知されてきている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	会員数、事業規模等が低いため、協会の存在、在り方が問われている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	仙北市の他の観光協会と比較し、規模が小さいため、観光協会の合併や連携を進める必要がある。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

観光協会の合併を模索しながら、会員数の増加を図ることにより、自主財源を確保するなど、規模は小さいながらも西木地区特有の施策を進める必要がある。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	行政、観光関係団体等それぞれが一体となった取組が必要となる。そのために3つの観光協会の連携（合併）を推進して事業に努めていただきたい。

一次評価診断図

